

2020年8月31日

発注業務を効率化し、接客や売場づくりをより強化 「AI（人工知能）発注」の仕組みを全店に導入

2020年9月1日より全国のイトーヨーカドー132店舗で運用開始

株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長：三枝 富博）は、9月1日（火）より、AI（人工知能）を使った商品発注のシステムを全国のイトーヨーカドー132店で導入し、運用を開始いたします。本取り組みによる発注対象となる商品は、カップ麺や菓子などの加工食品、冷凍食品、アイス、牛乳等、計約8,000品目となります。

本取り組みは、価格や商品陳列の列数などの情報や、気温・降水確率などの天候情報、曜日特性や客数などの基本情報を AI システムが分析し、最適な販売予測数を発注者に提案するものです。店舗の発注担当者は、このデータを踏まえ、発注判断を行います。

2018年春から実施しているテスト店舗では、店舗担当者が発注作業にかかる時間を平均約3割短縮でき、また、営業時間中に商品の在庫がなくなる事例を減らす効果も明確に確認でき、適正な在庫数量の確保にも繋がりました。従来、発注業務にかかっていた時間は、接客業務や売場作りなどの業務に向けていきます。

< AI（人工知能）発注概要 >

【開始日時】・2020年9月1日（火）

【実施店舗】・全国のイトーヨーカドー132店舗※

※うち33店舗については、テスト実施にて導入済

【対象商品】・カップ麺、菓子、米、缶詰、調味料、酒、飲料、冷凍食品、アイス、牛乳など 計約8000品目

▼AI 発注導入の背景



以上